



札幌市の西側、山と川がそばにある自然豊かな環境にKさんの住まいはある。道産カラマツの素朴だけれどぬくもりあふれる外壁に、赤い屋根がトレードマーク。その温和な佇まいからは、住まい手の人柄がそれとなく伝わってくる。

感じのいい木の扉を開けると、奥さまがほがらかに迎えてくれた。「自然素材の安心な家に住みたかったんです」。ゆったりつくられた玄関には薪専用のスペースが設けられ、貴重な燃料となる薪がワイルドに積まれている。「どうぞ、どうぞ」と通された室内では鋳物のストーブが存在感を放ち、味わいある木の空間によく似合っていた。「うちの暖房は、このストーブ1台だけ。2階まで十分あったまるんですよ。火の暖か

さって体の芯までじんわり。やさしい感じがいいですね」。そう笑う奥さまの表情がなんともほがらかだ。薪をくべるのもお手のものだという。天板に鍋をのせて煮込み料理をつくったり、ピザを焼いたり。今までにはない楽しみも広がった。

厳寒期でも火を焚くのは朝6〜9時頃まで。その後は夜まで消したままでも寒さを感じないそうだ。窓はトリプルガラスを標準仕様とするなど、住まいそのものの断熱性能を高めていることが大きい。ストーブの上の吹き抜けをはじめ、回遊式の水回り動線など、空気の通り道を随所に設けたことも、住まい全体の均質な心地よさにつながっている。

薪ストーブひとつで家も心もぽかぽかに。
いつまでも大切に暮らしたい愛しのわが家。



[札幌市：K邸 我が家マーク]

Example Report

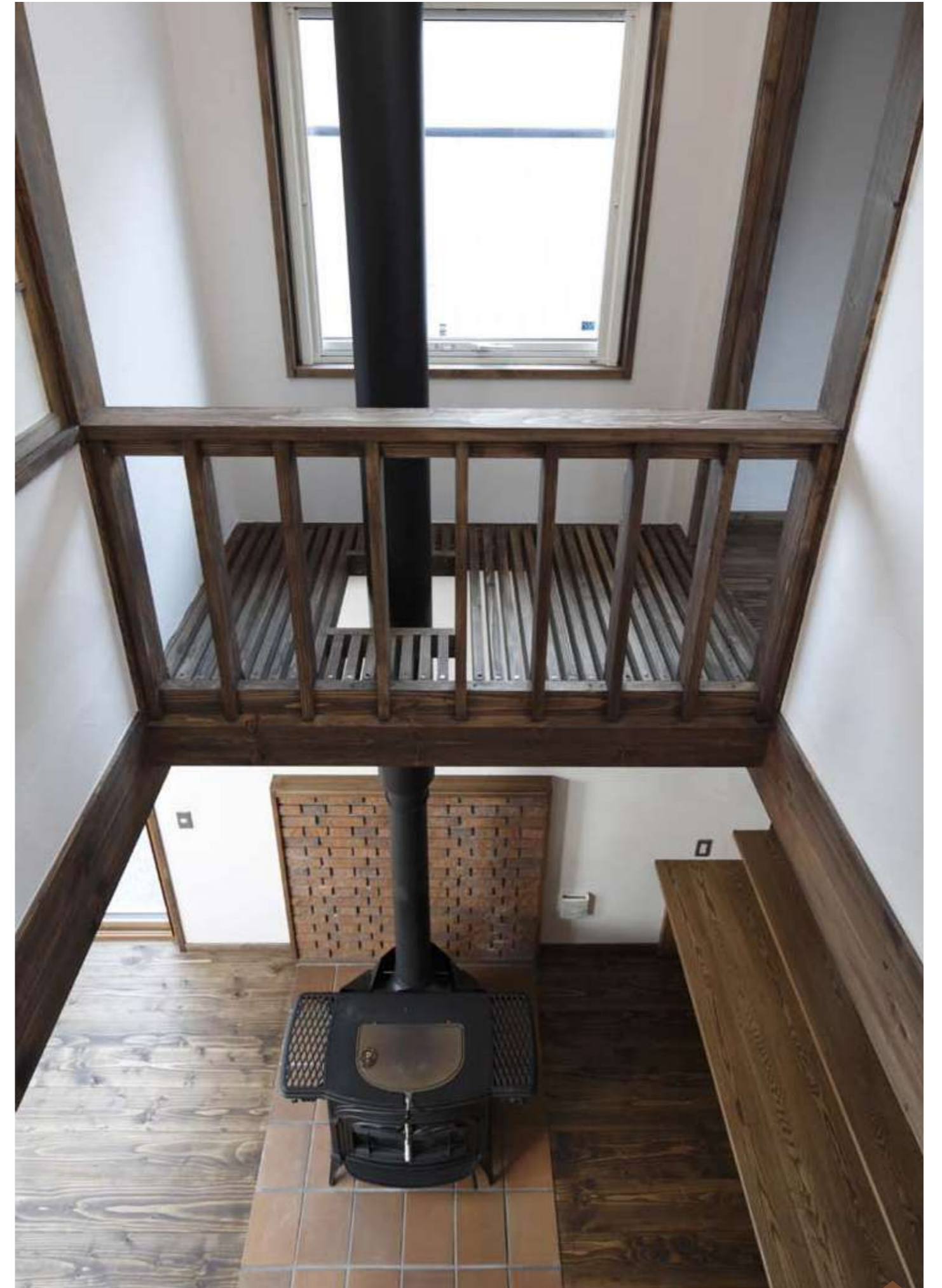
BIOPPLUS SAIJO DESIGN

有限会社 ビオプラス西條デザイン

取材・文／三枝史子 写真／篠野孝行



木酢液仕上げのカラマツを使用したシンプルな外観。ちょこんとった赤い屋根が愛らしく野鳥のクマガラを思わせる。



薪ストーブの上は吹き抜けに。長い煙突をかわして設けたキャットウォークは、窓を拭くときや洗濯物を干すのにも便利なのだとか。

単独・合同資料請求番号
会社情報を見る P000





床・家具・建具のほぼすべてが道産のトドマツ仕上げ。
木の香あふれるリビングにはテーブルやソファを置かず、昔ながらのちゃぶ台を愛用している。



4歳の男の子とご夫婦の3人家族。素材や性能、すべてにおいて安全な家に住みたいと思うようになったのは、子どもが生まれてからだった。それまでも合成洗剤は使わないなど、できるだけ環境に配慮した暮らしを心がけてきたが、子育てを機に食べ物のことを深く考えるようになり、家族の健康に影響する住まいの空気が気になるようになったのだという。

「無垢の木だけを使い、有害物質を発生させない素材を使った住まいづくりがいいなど。西條デザインさんのことは前から知っていて、家を建てる時はお願いしよう決めていたんです。2年ほど前、薪ストーブのある古民家風の拓北の家を見学し、夫も納得してくれました」。道産材を100%使い、どこかなつかしい雰囲気を漂わせ

るそのモデルハウスはご夫婦を魅了した。がっしりとした太い梁、趣のある板戸、柱をあらわにした真壁など、豊かな表情はそのまま新居にも再現。ホタテ漆喰の塗り壁はプロの職人の指導を仰ぎながら、夫婦ふたりで4日かけて塗り上げたものだ。「ところどころムラがありますが、ご愛嬌ということで(笑)。住まいづくりに自分たちも手をかけられたのは、後々いい思い出になりますね」。

自然素材ならではのざっくりとした質感は、健康やかに暮らしたいと願う家族の心をあたたかく包む。奥さまはできるだけ家具やモノは置かず、最少限の道具で生活したいという。もしかすると、空間の持つ力もこうしたライフスタイルを後押ししているのかもしれない。



左／ガラス戸から直接庭へ出入りできる。畑をつくるのが楽しみ。
右／吹き抜けで2階とのコミュニケーションもスムーズだ。



木の風合いがやさしいオリジナルキッチン。ガスコンロの背面には大容量の食品庫が。

天板のステンレス以外はすべて道産トドマツで仕上げたオーダーキッチンも、西條デザインらしさのひとつ。キッチンは日常的にもっとも使用頻度が高く、衛生的で機能的、かつ安全性が求められる場所だ。無垢の木に植物油の天然塗料で仕上げた面材は有害物質を発生させることなく、質感もやわらか。食器や家電がおさまるたっぷりの収納と、外気を取り入れ低温をキープする食品庫を備え、使い勝手も抜群。なにより、そこに立つのがうれくなるデザインである。昼食など一人の食事は対面カウンターで手軽に、というのも快適だ。キッチン以外に好きな場所はと尋ねると、迷わず吹き抜けとの答えが返ってきた。「家じゅう

家族の声が通るのが気に入っています。この家に住んでから思い切ってテレビを止めました。最初はどうかと思ったのですが、すぐに夫も子どもも慣れたようで。かえって絵本を呼んでとか、子どもとのコミュニケーションが増えたのもいいですね。もともとエコロジーへの関心が高かった奥さまだが、ここへ来てさらに磨きがかかる。なるべく電気を使わないように、掃除はできるだけホウキや雑巾を活用しているとのこと。北海道の木でできた手づくり感あふれる住まいを、自分で大切に手入れしたいと思うのは、ごく自然なことなのではないだろうか。



キッチンからの視界も良好。シンク左手の板戸を空ければ、浴室・脱衣所・洗濯スペースの水回りがひとまとめに。



オリジナルの洗面台の横には下着やリネン類が入る収納。右手の引き戸で玄関とつながる。



上／現在フリースペースとして活用している2階ホールは、将来的に2室の子ども部屋にできるよう分割可能な設計に。
下／寝室は布団で寝る畳の間。天井の勾配を利用して設けたロフトは、父と子の秘密基地に。

Data

敷地面積 283.15㎡ (85.66坪)	●内装材／無添加ホタテ塗り壁材・土佐和紙壁紙
延床面積 101.03㎡ (30.56坪)	●床材／道産トドマツ厚板・自然塗料仕上げ
1階面積 52.17㎡ (15.78坪)	●開口部／木製トリプルガラスサッシ
2階面積 48.86㎡ (14.78坪)	●暖房／薪ストーブ
●工法／木造在来工法	●キッチン／道産無垢の木でオーダーキッチン
●基礎／外断熱工法	●バスルーム／タカスタンダード ユニッバス
●断熱材／セルロースファイバー+木質繊維ボード付加断熱	●竣工年月／2016年12月
●屋根材／ガルバリウム鋼板	●家族構成／3人
●外装材／道産カラマツ木酢浸透材	●工期／約120日
	●プラン／フリープラン

Point 設計のポイント

- 100%北海道産の無垢の木を使用した安心かつ味わいのある自然派住宅。
- 開口部は表情豊かな木製サッシのトリプルガラスで高い断熱性能を実現。
- 薪ストーブ1台で全室暖房できるよう、空気の循環に配慮した換気計画。
- 常に低温を保つ食品庫を備えた、トドマツ仕上げのオリジナルキッチン。
- 構造物や下地に集成材や合板を使わず、無垢材利用で化学物質を極力排除。

有限会社 ビオプラス西條デザイン

【本社】〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581
【伊達支店】〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139
<http://www.saijo-d.com>

ネットでカタログ請求



単独・合同資料請求番号
会社情報を見る P000